

I 平成25年度事業報告書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

1 主要な会議

(1) 理事会

| 区分 | 開催日 | 議案等 |
|-----|------------|--|
| 第1回 | 平成25年5月23日 | ①平成24年度事業報告及び決算(案)の件 ②財団規程見直しの件 ・公益財団法人屋久島環境文化財団事務局組織規程(案) ・公益財団法人屋久島環境文化財団就業規則(案) ・屋久島環境文化財団主任事務員手当等支給規程(案) ③定時評議員会の開催の件 |
| 第2回 | 平成25年11月5日 | 〈報告事項〉 ①平成25年度事業報告(上半期)の件 ②屋久島世界自然遺産登録20周年記念事業の件 |
| 第3回 | 平成26年2月4日 | ①平成26年度事業計画(案)及び収支予算(案)の件 ②平成26年度資金運用の執行方針及び計画(案)の件 ③評議員会の開催の件 〈報告事項〉 ①屋久島世界自然遺産登録20周年記念事業の件 |
| 第4回 | 平成26年3月26日 | 評議員会の開催の件(書面表決) |

(2) 評議員会

| 区分 | 開催日 | 議案等 |
|-----|------------|---|
| 第1回 | 平成25年4月1日 | ①理事の選任に係る書面表決の件 |
| 第2回 | 平成25年6月3日 | ①平成24年度事業報告及び決算について承認を求める件 ②監事の選任の件 |
| 第3回 | 平成26年2月12日 | ①理事及び評議員の選任の件 〈報告事項〉 ①平成26年度の事業計画及び収支予算報告の件 ②平成26年度の資金運用の執行方針及び計画報告の件 ③屋久島世界自然遺産登録20周年記念事業報告の件 ④屋久島環境文化村中核施設利用料金変更報告の件 ⑤屋久島環境文化村センター休館日変更報告の件 |

2 事業報告

【公益目的事業】

(1) 環境学習事業

① 自主事業

ア 自然・文化体験セミナー「屋久島感動めぐり」まるごと屋久島体験
 広く全国から参加者を募り，自然を体験したり環境文化を学ぶため，屋久島のフィールドを活用した自然観察や島内の方々との交流等を行った。

| 名 称 | 実 施 内 容 | 実 施 時 期 | 参加者 |
|----------------|-----------------------|-----------|------|
| まるごと屋久島研修講座(里) | 島内一周解説 (集落散策, 地場産業見学) | 4月20日 | 28人 |
| まるごと屋久島研修講座(山) | 屋久島の自然散策 (ヤクスギランド解説) | 4月27日 | 16人 |
| まるごと巡る！新緑の屋久島 | 太忠岳トレッキング・地質解説・集落散策 | 5月3日～6日 | 9人 |
| 五感で楽しむ！水の島 | (最小催行人数に満たず中止) | 7月13日～15日 | — |
| 子ども屋久島大冒険！ | イカダ川下り・巨木の森冒険・キャンプ | 8月8日～11日 | 19人 |
| 島と生きる屋久島カルチャー | 白谷雲水峡トレッキング・無名木への名付け | 9月23日 | 14人 |
| 世界遺産の島歩き | 集落散策・スタンプラリー | 11月1日～4日 | 14人 |
| 冬の屋久島めぐり | 屋久島の食と職人めぐり | 2月8日～11日 | 42人 |
| 計 | 7回 | | 142人 |

イ 里のエコツアー

広く全国から参加者を募り，自然環境に負荷を与えない屋久島の里地の暮らしや伝統文化等について体験できるエコツアーを行った。

| 名 称 | 実 施 内 容 | 実 施 時 期 | 参加者 |
|-----------------|----------------|-----------|-----|
| のんびりゆったり里のエコツアー | 口永良部島散策・古岳登山 | 7月20日～21日 | 13人 |
| 中間里のエコツアー | 黒糖づくり, サトウキビ刈り | 3月22日～23日 | 8人 |
| 計 | 2回 | | 21人 |

<参考：里めぐり推進協議会実施分>

- ・主体：「屋久島里めぐり推進協議会」（屋久島町，財団，参加集落）
- ・目的：屋久島における山岳部へ集中する観光のあり方を見直し，屋久島の里地へ観光の幅を広げ，新たな観光と地域振興の仕組みづくりを進める。
- ・参加集落：吉田集落，宮之浦集落，春牧集落，平内集落，中間集落
- ・24年度実績：ホームページの開設，年間を通して計 16回174人を案内
 [吉田5回，宮之浦4回，春牧3回，平内2回，中間2回]
- ・25年度実績：計52回282人を案内
 [吉田8回，宮之浦12回，春牧20回，平内5回，中間7回]
 (民泊＝平内集落で計2回46人受け入れ)

ウ ふるさとセミナー

島内の方々を対象に，屋久島の身近な自然を素材にしてふるさとの新たな一面を発見し，自然のすばらしさを学ぶための体験型研修を行った。

| 名 称 | 実 施 内 容 | 実 施 時 期 | 参加者 |
|--------------|--------------------------------|--------------|------|
| 研修センターオープンデー | 葉緑素科学実験・エコうちわ・空缶 キャンドル・スライム | 6月9日 | 103人 |
| 冒険しよう | 餌木作り・イカつり・エコカイロ | 11月30日～12月1日 | 20人 |
| 計 | 2回 | | 123人 |

エ 星空観察会

星座や宇宙への関心を高めるため、島内各地で季節ごとの星空観察を行った。

| 名 称 | 実 施 時 期 | 参加者 |
|----------------|---------|------|
| 春の星空観察会（永田小学校） | 4月13日 | 45人 |
| 夏の星空観察会（宮浦小学校） | 7月15日 | 105人 |
| 秋の星空観察会（神山小学校） | 11月15日 | 78人 |
| 計 | 3回 | 228人 |

オ 自然に親しむ集い

環境省、屋久島町と共催で、屋久島の身近な自然のすばらしさを学ぶため、島内在住者を対象に自然観察活動や自然体験活動を行った。

| 名 称 | 実 施 内 容 | 実 施 時 期 | 参加者 |
|-------------|----------|---------|-----|
| 第1回自然に親しむ集い | 植物を使った遊び | 5月26日 | 11人 |
| 第2回自然に親しむ集い | 屋久島の地質 | 2月23日 | 13人 |
| 計 | 2回 | | 24人 |

② 環境学習受入事業

財団が作成した学習プログラムを活用して宿泊研修、一日研修、短時間研修を行うグループの受入れを行った。

| 区 分 | 団体数 | 延べ参加者 |
|-----------|-------|--------|
| 宿 泊 研 修 | 62団体 | 4,475人 |
| 一 日 研 修 | 43団体 | 1,196人 |
| 短 時 間 研 修 | 8団体 | 221人 |
| 合 計 | 113団体 | 5,892人 |

③ 人材養成事業

エコツアーガイドの育成、資質向上を図るため、ガイドセミナーを行った。

| 区 分 | 実 施 時 期 | 参加者 |
|---------|-----------|-----|
| 赤十字救急法 | 1月8日～10日 | 17名 |
| ガイドセミナー | 1月24日～26日 | 12名 |

④ 屋久島子どもエコ隊活動事業

屋久島の小学生4～6年生を対象に体験的な環境学習を通して、自然環境に対する意識の向上を図り、屋久島の未来を担う人材の育成を図った。

| 実施日 | 内容 | 参加者 |
|-----------|--|-----|
| 6月22日～23日 | 7000年の森ポイントラリー、キャンプ、森のクラフト等(友達作りゲームキャンプファイヤーパン作り、旗作り) | 21人 |
| 8月3日 | 子どもパークレンジャー「塚崎タイドプール観察」(タイドプール観察パークレンジャー体験タイドプールマップ作成) | 18人 |
| 12月22日 | 芋版作り、段ボールオープンクッキング、年賀状作り | 17人 |
| 2月1日～2日 | 子どもパークレンジャー「生態系観察」和紙づくり、絵日記作成 | 24人 |
| 計 | 4回 | 80人 |

⑤ 屋久島関連論文等データベース化事業

屋久島関連の研究者の資料収集やデータベース化の準備を行い、内容の充実と研究講座等への招聘に活用した。また、研究者の連携を推進するために、メーリングリストの活用を図った。(平成26年3月末現在メーリングリスト登録者数：21人)

⑥ 屋久島高校環境学習支援

自然の中で行われる学習活動(屋久島でのエコツアー、屋久杉の植生・利用の歴史的調査等)を通じて、屋久島の自然環境への理解を深め、人と自然の関わりを考えることを目的に、屋久島高等学校環境コースの学生の宿泊研修に対し支援を行った。

| 名称 | 実施時期 | 参加者 |
|------|------------|--------|
| 夏季研修 | 7月16日～17日 | 生徒 8人 |
| 秋季研修 | 10月23日～24日 | 生徒 8人 |
| 冬季研修 | 1月28日～29日 | 生徒 7人 |
| 計 | 3回 | 生徒 23人 |

⑦ 学校教育の支援

屋久島についての理解を深めてもらうため、町内の小学校の教育課程における補助教材(4年生用)として、財団が出版している「図説屋久島」を町教育委員会へ160冊寄贈し活用している。

なお、寄贈は24年度～26年度までの3年度計画で、最終的に小学校4年生から6年生の環境学習等の授業の補助教材として活用されることになっている。

⑧ 屋久島研究講座

島内の方々を対象に、屋久島についての理解を深めてもらうため、屋久島について調査研究した内容を講義形式で発表する屋久島研究講座を実施した。

| 回 | 講演日 | 演 題 | 講 師 | 場 所 | 参加者 |
|---|--------|-------------------------------------|--|-------|------|
| 1 | 5月25日 | 越境大気汚染緊急報告会 「PM2.5って何？正しい理解のために」 | 滋賀県立大学 永淵 修 | 村センター | 73人 |
| 2 | 8月18日 | 屋久島の昆虫 ～こんなことがわからない～ | 昆虫同好会 金井 賢一 | 〃 | 54人 |
| 3 | 10月11日 | 屋久島魚大全「海の魚 川の魚」 | 九州大学 鹿野雄一 鹿児島大学総合 研究博物館 本村浩之 | 〃 | 104人 |
| 4 | 2月22日 | ウイルソン博士と屋久島 | 作家 古居智子 | 〃 | 60人 |
| 5 | 3月22日 | 屋久島の花崗岩と金属資源 | 館長 根建心具 | 〃 | 58人 |
| 計 | | 5回 | | | 349人 |

⑨ 出張屋久島研究講座

島内の団体を対象に、屋久島の自然や文化に対する認識を深めるため、講師を直接地域に派遣し、講演を行った。

| 実施日 | 内 容 | 対 象 者 | 参加者 |
|-------|---------------------------------|-------|-----|
| 5月25日 | 第2回野草を知る集い [鹿児島植物研究会 川原勝征先生] | 春牧集落 | 21人 |
| 計 | 1回 | | 21人 |

(2) 環境形成事業

① 環境保全普及啓発

環境省が作成したマナービデオの中核施設内の放映や、マナーガイド、リーフレットの配布を行った。

② 山岳部利用対策

「荒川登山バス」を運行するに際し、協力・推進するとともに、縄文杉周辺等でマナー指導、パトロールを実施した。また、山岳部トイレのし尿処理問題に関し、携帯トイレの利用促進を図るとともに、山岳部保全募金への協力・広報活動を行い、山岳部の環境保全に寄与した。

③ 環境保全活動支援

ア 屋久島環境ボランティア活動支援事業

環境保全の意識向上のために啓発活動等に取り組んでいる島内の団体に対する支援を行った。

イ 屋久島生物多様性保全活動支援

環境共生事業の一環で、屋久島まると保全協議会、ヤクタネゴヨウ調査隊、屋久島町、当財団の四者で設立している「屋久島生物多様性保全協議会」に参加し、屋久島の絶滅危惧種等の貴重植物の現況分布調査や、生物多様性保全に関する普及啓発の会議等を行った。

ウ 野生生物生息環境保全等対策支援事業

森林植生の生態系及び住民の生活環境に影響を及ぼしている、ヤクシカによる食害被害の軽減・個体数管理のため、屋久島町へ支援を行った。

エ 生物多様性保全研究活動奨励事業

環境保全の意識向上のための啓発活動等に取り組んでいる島内の団体に対する支援や屋久島の生物や環境保全をテーマに調査・研究する研究者に対し、新たに助成を行った。

| 事業区分 | 団体名 | 事業内容 |
|------|-----------------------|--|
| ア | 何かやっている会 | 割り箸等のリサイクル推進 |
| イ | 屋久島生物多様性保全協議会 | 絶滅危惧種等の貴重植物の現況分布調査 生物多様性保全に関する普及啓発 |
| ウ | 屋久島町 | シカ罾くくり罾の整備 |
| エ | 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター | 屋久島・ロ永良部島に生息するニホンジカのDNA解析（遺伝的多様性の解明） 外 |
| エ | 屋久島まるごと保全協会 外 | タカツランの保全 住民と協同した照葉樹林の生態系保全活動 |
| エ | 屋久島町立八幡小学校 | 海岸清掃，パークレンジャー体験，EM石鹸づくり |

④ 自然保護活動

ア うみがめ保護遮光林維持管理

うみがめの産卵環境を保護するため、遮光林の維持管理(施肥・除草・刈込)を行った。

| 実施期間 | 委託先 | 実施場所 |
|---------------------|---------------|---------------------------|
| 4月25日 ～ 1月30日 | NPO法人屋久島うみがめ館 | 永田浜(いなか浜)， 一湊(一ッ浜，二ッ浜) |

イ マリンワーカー事業

環境省から委託を受け、うみがめの繁殖環境を良好に保持するために、島内の海岸清掃を地域の方々と実施した。

| 実施期間 | 実施団体 | 実施場所 |
|------------------|-----------------|--------------------------------|
| 6月30日 ～10月31日 | NPO法人屋久島うみがめ館 | 永田浜(前浜，いなか浜，四ッ瀬浜)，一湊(一ッ浜，シビワン) |
| 6月30日 ～10月31日 | 岳南スポーツ少年団 | 栗生浜 |
| 6月30日 ～10月31日 | 栗生バレーボールスポーツ少年団 | 塚崎海岸 |
| 6月30日 ～10月31日 | 財団直営 | 田代海岸 |

ウ 海岸清掃

「世界環境デーinいなか浜」に併せ、財団ボランティア及び職員がいなか浜の海岸清掃を実施した。

| 実施日 | 主催団体 | 実施場所 |
|------|---------------|------|
| 6月2日 | NPO法人屋久島うみがめ館 | いなか浜 |

(3) 交流推進事業

① 情報の収集・提供

ア 財団会報「屋久島通信」(A4版, 12ページ)の発行(9,000部)
全国の屋久島ファンクラブ会員に対して、屋久島の情報を提供した。

| 号数 | 発行時期 | 内容 |
|------|----------|-----------------------------------|
| 第54号 | 平成25年7月 | 屋久島の貝類相／文化村構想他 |
| 第55号 | 平成25年11月 | 屋久島自然遺産登録20年の歩み／屋久島の淡水魚他 |
| 第56号 | 平成26年3月 | ニホンジカの形の変異とその要因を探る／屋久島高等学校環境コース 他 |

イ 財団機関紙「まるりん通信」の発行(6,500部)
毎月1回島内の全戸に配布し、財団の活動状況を紹介するとともに、中核施設への来館、イベントへの参加を呼びかける情報発信を行った。

② 財団ホームページの運用

ホームページの構成などの抜本的見直し、フェイスブックの新規活用等具体的な改善方向、たたき台となる構成を検討した。(26年4月に、ホームページはリニューアルオープン、フェイスブックは新規開設した。)

③ 屋久島ファンクラブの運営・加入促進

財団の活動を支援・協力指定していただく屋久島ファンクラブ会員に「屋久島通信」による情報提供を行った。また、屋久島ファンクラブの加入促進や認知度向上のために、島内の関係機関(小中学校, 高校, 議会など)に勧誘し入会を図った。

| | | |
|--------------|------|------------|
| ファンクラブ会員数 | 918人 | (26年3月末現在) |
| うち会費自動振込利用者数 | 86人 | |
| 25年度新規加入者数 | 206人 | |

[参考：平成25年3月末会員数：868人]

④ ボランティアネットワークの構築・運用

ア 屋久島の環境保全活動等に協力していただける人々を登録する環境文化ボランティア制度の周知に努めるとともに、島内でのボランティア活動を行った。
ボランティア登録者数 25人(26年3月末現在)

〈活動状況〉

| 開催日 | 活動内容 | 参加者 | 主催者 |
|-------|---------------------------|-----------|-------------------|
| 4月21日 | 鎮守の森植樹活動 | 4人(229人) | 鎮守の森を守る会 |
| 6月2日 | 世界環境デーinいなか浜 | 6人(152人) | NPO法人 屋久島うみがめ館 |
| 7月28日 | 村セン祭り 昔の遊び道具作り | 6人(150人) | 財団 |
| 8月27日 | 留学生ポスターセッション | 8人(71人) | 鹿児島大学留学生センター |
| 9月29日 | マリンワーカー事業(田代海岸清掃) (再掲) | 4人(16人) | 財団 |
| 計 | 5回 | 28人(618人) | |

※()は全参加者延べ人数

イ 企業ボランティアの参加

| 開催日 | 活動内容 | 参加者 | 主催者 |
|---------------|-------------------------------|-----|-----------------------|
| 9月28日 ～29日 | ・田代海岸清掃 ・ヤクタネゴヨウシカ柵保護ネット撤去 | 22人 | 財団, (株)伊藤園, ボランティア |

⑤ 環境文化芸術スポーツ活動支援

国土交通大臣杯全国離島交流中学生野球大会に出場するチームの後援会へ助成を行った。

| 実施主体 | 事業内容 |
|-------------|--|
| 屋久島選抜チーム後援会 | 全国離島交流中学生野球大会に出場する屋久島選抜チームを支援し、中学生の育成と技術力の向上を図る。 |

(4) 屋久島地域づくり支援事業

① エコツーリズム支援（再掲）

- ・主体：「屋久島里めぐり推進協議会」（屋久島町，財団，参加集落）
- ・目的：屋久島における山岳部へ集中する観光のあり方を見直し，屋久島の里地へ観光の幅を広げ，新たな観光と地域振興の仕組みづくりを進める。
- ・参加集落：吉田集落，宮之浦集落，春牧集落，平内集落，中間集落
- ・24年度実績：ホームページの開設，年間を通して計 16回174人を案内
[吉田 5回，宮之浦 4回，春牧 3回，平内 2回，中間 2回]
- ・25年度実績：計52回282人を案内
[吉田 8回，宮之浦12回，春牧20回，平内 5回，中間 7回]
(民泊＝平内集落で計 2回46人受け入れ)

② 地域づくり支援

地域づくりを支援するために，イベントや地域活動に対し，支援を行った。

| 実施主体 | 事業内容 | 開催日 |
|--------------------|-------------------------------|-----------------|
| 青森ねぶた招致観光交流事業実行委員会 | 青森ねぶたをご神山祭りの際に運行し，地域振興と交流を図る。 | 8月3日 |
| 屋久島ご神山祭り実行委員会 | 町内最大のご神山祭りに支援 | 8月4日 |
| やくしま夏まつり実行委員会 | やくしま夏まつりに支援 | 8月17日 |
| 超自然屋久島ツアーデーマーチ | ツアーデーマーチを支援し，自然愛護の高揚を図る。 | 11月9・10日 |
| 平内じゃったあつ会 | 史跡めぐりコース整備 | 12月1日 ～3月10日 |

③ 屋久島新特産品開発プロジェクト事業

新特産品開発を行っている団体に，開発支援や物産展への出店助成を行った。

| 実施主体 | 事業内容 |
|----------------|-----------------|
| NPO法人屋久島エコフェスタ | 楠川区の加工品のパッケージ開発 |

(5) 国際交流事業

① 屋久島とニュージーランドとの交流支援（H22年度～，4回目）

屋久島町が姉妹木盟約を締結しているニュージーランドのファーノース及びカイパラ地区との相互交流を図るため、島内中学・高校生が渡航する際に必要な経費の一部の支援を行った。（平成25年度実績:25年7月27日～8月15日，中学生4名，高校生1名）

② 鹿児島大学留学生ホームステイ受入事業の実施（H24年度～，2回目）

鹿児島大学に留学中の外国人(10名)が屋久島でのホームステイ(平内集落)を通して文化や暮らしを体験しながら、島民とのふれあいを通して異文化交流を図った。（8月28日～8月30日）

(6) 屋久島環境文化村中核施設管理運営等事業

屋久島環境文化村中核施設である環境文化村センター及び環境文化研修センターの管理運営業務を県から受諾し、その適切な管理を行うとともに、経費節減による効率的な運営及び施設設備の補修等の維持管理に努めた。

① 開館17周年記念事業

〈村センター〉

| 内 容 | 開 催 日 | 参 加 者 |
|---------------------|-----------|-------|
| 島民感謝デー（無料観覧） | 7月15日～31日 | 275人 |
| まるりん撮影会 | 7月28日 | 100人 |
| オリジナルうちわ作り&かんたん工作体験 | 7月28日 | 150人 |
| 映画会Ⅰ「最強のふたり」（大人向） | 7月27日 | 27人 |
| 映画会Ⅱ「シュガーラッシュ」（親子向） | 7月28日 | 199人 |

〈研修センター〉

| 内 容 | 開 催 日 | 参 加 者 |
|--|-------|-------|
| ワクワク理科体験 (葉緑素科学実験・エコうちわ・空缶キャンドル・スライム) | 6月9日 | 103人 |

② 交流ホール貸出展示

| 内 容 | 開 催 日 |
|---|---------------|
| 豊饒の海～境界に生きる～ | 6月5日～6月25日 |
| 特別企画展 まるりん大作戦 「100年前の屋久島 ここはどこ？」～みんなで探そう ウィルソン博士の足跡～ | 7月27日～8月10日 |
| 特別企画展「屋久島でこんちゅう展」 | 8月13日～9月1日 |
| 酒巻澄江写真展「杜に生きる」 | 9月13日～10月4日 |
| 絵手紙展示 | 10月12日～10月31日 |
| 小中学生作文展 | 11月14日～11月21日 |
| 子どもパークレンジャー作文展 | 2月10日～3月10日 |

③ 中核施設利用者の状況

ア 屋久島環境文化村センターの状況 【入館者数】 (単位：人・%)

| 区 分 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | |
|----------|--------|--------|--------|---------|
| | | | | 対前年度同期比 |
| 入 館 者 数 | 51,747 | 62,146 | 64,212 | 103.3% |
| うち有料観覧者数 | 29,949 | 24,709 | 24,405 | 98.8% |

【その他施設の利用状況】

| 施 設 名 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|---------|------------|------------|------------|
| | 利用回数(延べ日数) | 利用回数(延べ日数) | 利用回数(延べ日数) |
| レクチャー室 | 57回(78日) | 66回(78日) | 53回(60日) |
| 交流ホール | 15回(198日) | 11回(168日) | 7回(103日) |
| 大型映像ホール | 3回(3日) | 3回(3日) | 1回(1日) |

イ 屋久島環境文化研修センターの状況 (研修課, 総務企画課)

【利用者数】 (単位：人・%)

| 区 分 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | |
|---------|-------|-------|-------|---------|
| | | | | 対前年度同期比 |
| 利 用 者 数 | 6,933 | 7,053 | 6,453 | 91.5% |

【その他施設の利用状況】

| 施 設 名 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|--------|------------|------------|------------|
| | 利用回数(延べ日数) | 利用回数(延べ日数) | 利用回数(延べ日数) |
| 視聴覚室 | 1回(1日間) | 1回(1日間) | 0回(0日間) |
| レクチャー室 | 4回(4日間) | 10回(10日間) | 2回(2日間) |

④ 屋久島世界自然遺産登録20周年記念事業

ア 世界自然遺産登録20周年記念式典

平成5年に世界自然遺産に登録されて20年が経過した屋久島の自然、暮らし、経済などについてふりかえり、未来の姿をともに考える記念行事を11月23日(土)24日(日)に開催した。また、24日は吉田、宮之浦春牧地区の「里のエコツアー」も開催され、計35名の参加者があった。

運営は、実行委員会(鹿児島県、屋久島町、屋久島環境文化財団)を組織して行い、当財団は事務局としてその運営に参加した。

イ 特別企画展：「100年前の屋久島 ここはどこ??」

～みんなで探そうウィルソン博士の足跡～

ウィルソン博士が100年前に撮影した屋久島の写真(20枚程度)の撮影場所を島民参加のもと探し出し場所の特定を行い、現況との比較写真展の開催やウィルソン博士の足跡をたどる里のエコツアーを実施した。

- ・写真掲示：村センター、各公民館など(7月～8月)
- ・ウィルソン博士足跡マップ作成(10月)
- ・100年前と現在との比較写真展示(11/23, 24)
- ・ウィルソン博士の足跡をたどる里のエコツアー(2月23日)

[主催：実行委員会(県、町、財団)、共催：NPO法人 屋久島エコ・フェスタ
後援：九州森林管理署、九州環境事務所]

【収益事業】

物品等販売事業

財団の収益を確保し、公益目的事業を推進するため、各種屋久島環境文化財団オリジナルグッズ(カレンダー、てぬぐい、携帯ストラップ等)や屋久島関連書籍等の販売を行った。

【法人会計事業】

財団管理運営事業

① 環境文化村構想の普及啓発

環境文化村構想を普及するため、「財団パンフレット」や「文化村センターリーフレット」を配布した。

また、中部屋久島会総会(4月14日：名古屋市)、近畿屋久島会幹事会(8月4日：大阪市)、第9回関西鹿児島ファンデー(8月4日：大阪市)などの出郷者会において、環境文化村構想の普及啓発を行った。

② 効率的な管理運営の推進

効率的な管理運営や施設の利用促進のための広報活動の一環としてポスターを島内施設に掲示し、環境保全募金活動の展開や賛助企業の拡大に向けた業務推進に努めた。

③ 理事会・評議員会の開催

財団の理事会(4回)、評議員会(3回)を開催した。

また、公益財団法人として、自立的運営能力向上を図るため、引き続き基本財産の適正運用による収入増に努めた。

